

第21回 気象教室

参加
無料

気候変動による大雨・線状降水帯

2021年10月17日 日 13:00~15:30

Zoom ウェビナー & YouTube Live 配信

今年8月は、西日本から東日本の広い範囲で大雨となり、総降水量は多いところで1400ミリを超える記録的な大雨に見舞われました。特に8月12日~14日は九州北部地方と中国地方で線状降水帯が発生し記録的な大雨となり、各地で特別警報が発表され、「顕著な大雨に関する情報」が計9回発表されました。また、西日本日本海側と西日本太平洋側では、1946年の統計開始以降、8月の月降水量の1位の記録を更新しました。このような集中豪雨をもたらす線状降水帯や大雨の実態と、気候変動で将来どのように変化するのか、最新の知見について紹介していただきます。

●第1部 13:10~14:10 (13:00~接続開始)

「集中豪雨をもたらす線状降水帯とは」

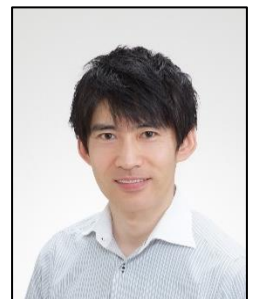
講師：加藤 輝之 (気象研究所 応用気象研究部長)



●第2部 14:20~15:20

「気候変動で変わる大雨」

講師：川瀬 宏明 (気象研究所 主任研究官)



●座長：竹村 俊彦

(九州大学応用力学研究所 大気海洋環境研究センター
気候変動科学分野 主幹教授)



お申込みは
こちら →

締切 10月14日



共催：(公社) 日本気象学会九州支部
九州大学応用力学研究所
後援：(一社) 日本気象予報士会 西部支部
問合せ先：E-mail: info@msj-kyushu.jp
申込先ホームページ：http://msj-kyushu.jp

●第1部 集中豪雨をもたらす線状降水帯とは

・講演者 加藤 輝之(かとう てるゆき)

・所属・役職名・略歴： 気象庁 気象研究所 応用気象研究部長

1987年気象大学卒業後、気象庁海洋気象部で気象観測船での観測経験を踏み、気象研究所予報研究部に異動。その後、気象庁予報部数値予報モデル開発推進官、観測部観測システム運用室長、気象大学教頭を歴任後、2021年より現職。また、1998年には博士号(東京大学)を取得し、2006～2017年には筑波大学連携大学院准教授・教授を兼務。

・講演概要

日本では3時間降水量 200mm を超えるような集中豪雨がしばしば観測され、地滑りや洪水を引き起こす。そのうち、およそ半分(台風本体によるものを除けば 3分の2)が「線状降水帯」によってもたらされる。本講演では、「線状降水帯」という用語の由来から発生メカニズム(図:2014年8月の広島での大雨事例)、予測可能性について解説するとともに、今年8月の大雨時での発生例についても紹介する。

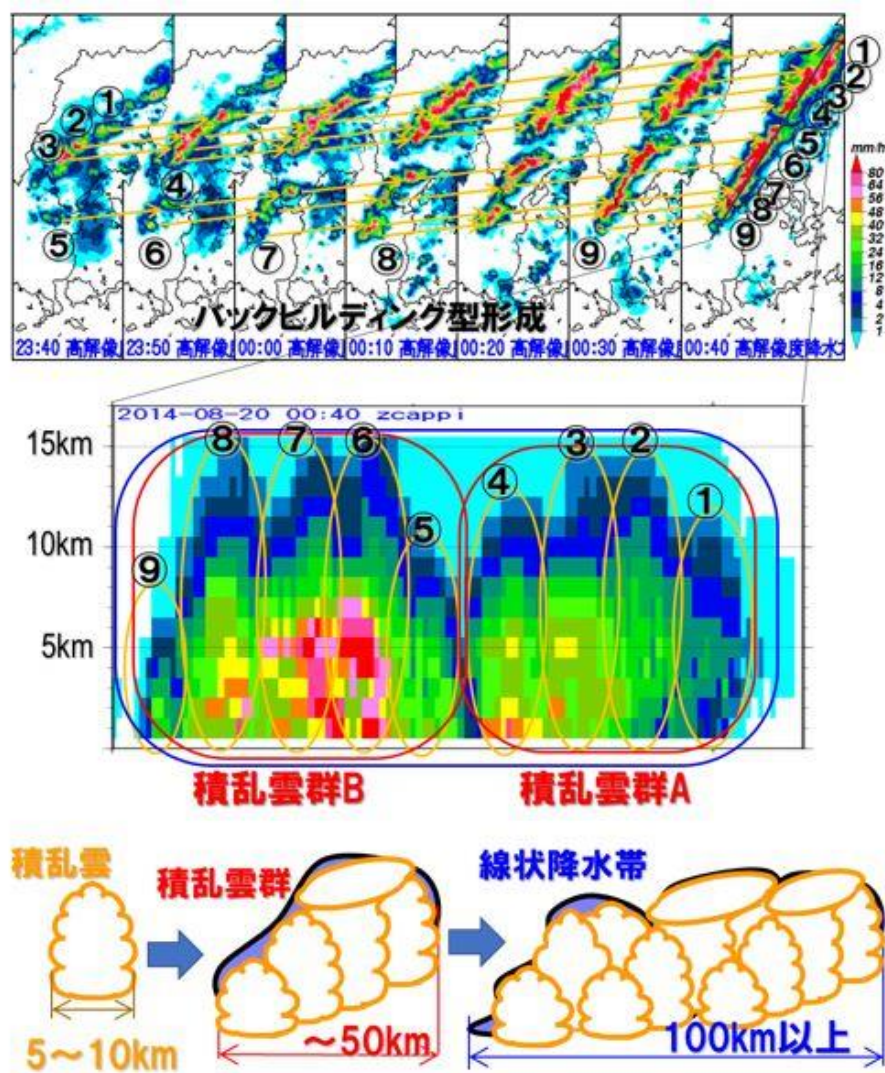


図 2014年8月の広島での大雨事例

●第2部 気候変動で変わる大雨

・講演者：川瀬 宏明(かわせ ひろあき)

・所属・役職名・略歴：気象庁 気象研究所 応用気象研究部 主任研究官

2007年筑波大学大学院生命環境科学研究科卒業。博士(理学)。海洋研究開発機構、国立環境研究所を経て、2014年に気象庁気象研究所に入所。環境・応用気象研究部研究官、主任研究官を経て、2019年より現職。現在、地球温暖化に伴う日本の気候変化予測研究を行っており、近年発生した大雨や大雪に対する地球温暖化の影響も評価している。

・講演概要

平成29年7月九州北部豪雨、平成30年7月豪雨、令和元年東日本台風に伴う大雨、令和2年7月豪雨、気象庁が名付ける豪雨が多発している。地球温暖化の進行に伴い、豪雨が発生すると温暖化と豪雨の関係がよく話題にあがる。地球温暖化に伴う気候変化が近年の豪雨にどの程度影響を及ぼしたのか、さらに温暖化が進むと、どのように変化していくかなどを最新の研究も交えて話します。

★座長

竹村 俊彦(たけむら としひこ)

・所属・役職名・略歴 九州大学応用力学研究所 主幹教授

1974年生まれ。2001年に東京大学大学院理学系研究科博士課程修了。博士(理学)。2001年から九州大学応用力学研究所助手。2006年から同研究所准教授。2014年から現職。専門はコンピュータを使った大気中の微粒子(エアロゾル)により引き起こされる気候変動・大気汚染の数値シミュレーション。気候変動に関する政府間パネル(IPCC)第5次評価報告書主執筆者(Lead Author)。SPRINTARS PM2.5・黄砂予測を運用。

Highly Cited Researcher(高被引用論文著者)に選出中(7年連続)。2018年度日本学士院学術奨励賞・日本学術振興会賞。

お申し込み方法

気象教室は、Zoom ウェビナー(先着490名様)と YouTube Live(無制限)によるオンライン開催となります。参加費は無料ですが、以下のとおり事前の参加申し込みとインターネット接続環境が必要です。

お申し込みは、学会ホームページ(<http://msj-kyushu.jp/>)からイベント、気象教室、お申し込みフォームへ進み、参加申し込みフォーム(<https://forms.gle/uDUtvKlQkFyjGk9>)を利用してお申し込み下さい。

- (1) 登録フォームに必須事項を記入して登録。(締め切りは10月14日)
- (2) 気象学会九州支部(info@msj-kyushu.jp)からご登録頂いたメールアドレスへ10月15日までに接続に必要な情報をご連絡致します。
- (3) 当日は、メールのご案内に従って、開始時刻までに接続をお願いします。